

# Channel MORIOKA

アマチュア無線盛岡クラブ

SINCE 1949

平成15年3月号

JA7YCE

ホームページ <http://member.nifty.ne.jp/ja7yce/>

3月だというのに時ならぬ暴風雪に見舞われてしまいました。アンテナ等に被害がなければよいのですが…。でも沿岸地方に春の訪れを告げる湿ったドカ雪が降ったようなので、もう春はそこまで来ているのでしょう。

## カリブ運用記

— その2 FG～V4編 —

JR7HAN/1 花野峰行

ロギングは、仕事用に持参したPC (IBM X20) でZLOGを使いました。

X20はパラレルやシリアルと言った、いわゆるレガシーポートはなくUSBしかありませんので、出発直前でしたが、USBIF4CWを入手してCWキーイングに対応できるようにしました。また、ヘッドセット(+マイク)は、ハイルのBM-10-4を以前QRPクラブ割引で入手してありましたので、これと自作の八重洲、ケンウッド用の接続コードを持参しました。

また、これも出発直前でしたが、FT100用のアダプタも入手し、FT100でのSSB運用に備えました。ZLOG + USBIF4CW + BM-10-4の組合せは、SSBでは「無変換」キーが送信オンオフ用のPTT SWになりますので、フットSWを使うより楽で非常に便利でした。余談ですが、Windows版のZLOGでは、シリアルポートからもPTTのオンオフが出来ます。ご参考まで。

PCキーイングと並列で使う手打ち用キーヤーはEDCのポケットキーヤー、パドルは超小型超軽量のBD2を持参しました。今回はあくまで仕事での出張ですので、無線関係の資機材は重量、かさともに必要最小限に押さえました。なお、JA7RHJ熊谷さんからのご忠告により、いざというときにリニアを直接オンオフできるよう、RCAプラグをつけたフットSWを持参しましたが、結局リニアは使いませんでした。

これらの無線用小物類は、写真にあるようなタッパーに納めてスーツケースに入れました。こうしておけば、スーツケースの中でつぶれて壊れることもありませんので



006PとBD2

安心です(特にヘッドセットはつぶれやすいので)。なお、借り物のFT-100Dはなくすといけませんから、エアークッションでくるんでザックに入れて、移動中は常時背負って歩きました。

この日は最初と言うことで面白かったこともあり、まとまった食事時間もとることなく、パンやバナナを頼張りながら夜更けまで運用しました。翌朝は、JAの夕方から夜にかけての7メガや14メガのパスをねらったの運用です。朝3時過ぎに起きだして運用を再開しました。C4XLは7メガも2エレです。リニアローディングですが、フルサイズに近い威力があり、非常にいいANTであることを実感しました。これで、7メガでも面白いようにJAと交信できました。朝も、パンやバナナを頼張って朝食代わりにしての運用でした。

JAの夜8時(現地は朝7時)過ぎからは14メガに移りJAと交信していましたが、まだまだ14メガでJAと交信できるなぁ、と思っていた朝9時近くになってジョルジェスが迎えに来ました。今日は、地熱発電所の見学です。彼のシャックからは山を越えるか海岸沿いを走るかして1時間近くはかかるとのこと。往きはカーブが少なく時間のかからない山越えのルートを取るようになりました。走ること1時間近くで、地熱発電所に着きました。

ジョルジェスも前に来たことはあるとは言いながら、所長直々各所を見学させてもらいましたので喜んでいました。所長はプラント屋さんでしたので、パネルになっている地下調査関係の資料を基に私が地下資源関係の説明をしてあげたところ両方から喜ばれました。おまけにお昼も所長のご招待でごちそうになりましたので、ジョルジェスは大変ハッピーなようでした。海岸脇には、温泉が自然湧出する場所が何箇所もあり、海水混じりの露天風呂になっているところも見学できました。パネルになっていた温泉の泉質分布図から見ると、地熱資源の中心は、陸上ではなく、入り江の地下にありそうでした。

この日はジョルジェスを運転手件通訳でほぼ丸一日拘束してしまいましたので、会社宛の領収書を切ってもらい、手間賃を別途支払いました。

余談になりますが、さすがフランスです。発電所長のご招待でごちそうになったお昼は、帰りに立ち寄った米国のまずい肉料理とは比較するのもおこがましいような、それはそれはおいしい魚料理でした。次に行った時に一人でも行けるよう、思わずレストランの写真を撮ってしまいました。帰りは風光明媚な海岸沿いのルートを通って、シャックまで戻りました。

さて、一仕事終え、ノート整理やレポート書きを終えると夕方です。JAのオープンも間近ですのでQRVを再開しました。今回は21メガでJAと交信です。JA7JHT伊藤会長とは7メガ、21メガ、18メガ、JR7VHZ局とはJAと交信できた全バンドで交信できました。セントキットへの移動日となる10月31日は、ジョルジェスが迎えに来てくれたしばらく前までEU相手に24メガで遊んでおしまいとなりました。結局、FGでの総交信数は1,241(CW 1,148、SSB 93)となりました。



タッパーに入った小物たち



右端がジョルジェス(FG5BG)



なお、ここでの運用は蚊が多くて大変でした。近くに泉があるので水たまりがあるせいでしょうか。シャックには大きな殺虫スプレーと蚊取り線香が置いてあり、蚊取り線香を2本同時に炊いていましたが、それでも手や足を多数喰われてしまいました。ベッドの上には蚊帳がありましたが、ネットが手足に触れる部分も多いため、寝ている間も蚊取り線香を2本炊いて何とか耐えました。なお、シャワーはドラム缶に汲んだ泉の水をバケツで浴びておしまいですが、さっぱりして快適でした。



C4XL(18mH) 非常にいいアンテナ

## 2. ネビス(V4/JR7HAN:11月2日~3日)

さて、次はネビス島(V4)です。FGとJ6については、レンタルシャックがあり、事前に連絡が付いていましたので、盛クラや岩手HAM ML、QRP MLなどに運用の可能性ありと言うことで情報を流すことが出来ていました。ネビス島では11月2日~3日の土日を通り越す予定になっていました。そこで、FCGネットで一度交信したことがあるV44NEFが丁度ネビス島でしたので、事前にメールを送り、訪問と運用の可能性を打診していましたが、出発までは結局返事をもらえませんでした。半ばあきらめていたのですが、FGでの運用状況の報告方々大畑さんに電話をかけた際、V44NEFの名前がEarl Francis(アール・フランシス)であることを教えてもらい、電話帳で電話番号を調べてみました(日本からメモを持ってきたはずなのですが、どうも忘れてきたようで、結局電話で聞く羽目になりました)。この際、大畑さんには、直談判に成功すればV4からQRVの可能性ありとのQSPをMLに流していただくようお願い出来ました。

電話帳では、同じ住所に同姓同名の番号が2件ありましたが、11月2日(土)にネビス島に着いてからとにかく電話を掛けてみたところ、いきなり「おまえマイクか? emailで返事を出したが…」と言われ驚きました。私の峰行という名前は外人には発音が不可能に近いので、ある米国の知人が勝手にマイク(Mike)と呼んでおり、無線の時はそれを流用しています。とにかく無事V44NEFが捕まりました。聞けば、多忙だったのとPCが故障していて返事を出せなかったとのことで(「蕎麦屋の出前」の言い訳でしょうけど)、お宅の訪問も、無線のゲスト運用も両方OKとのことでした。彼からのemailの返事は、私がFGにいる時に送られたようなのですが、FGでは電話回線がないので私はemailが読めず、また、キッツの宿もなぜか接続がうまくいかず結局emailが数日間読めなかったのが、彼からの返事を確認できなかったのです。

午後になり、彼が宿まで迎えに来てくれました。彼は、53才で、島では最高級ホテルであるフォーシーズンズ(閑散期でも一人一泊最低US300ドルからとか。繁忙期になるとUS500ドル以下では泊まれないらしい…)が所有するクルーザーの船長をしています。この土日は休みとのこと。以前は外国航路の船員をしており、長くシンガポールをベースにし



V44NEFと彼のANT (A3S 20mH)

ていたそうです。日本には一度横浜に入港したことがあると言っていました。子供は5人いるそうですが、既に全員巣立ってしまっており、現在は、奥さんと弟さんの3人暮らしです。子供さんのうち2人は米国海軍にいるそうです。

いたそうです。日本には一度横浜に入港したことがあると言っていました。子供は5人いるそうですが、既に全員巣立ってしまっており、現在は、奥さんと弟さんの3人暮らしです。子供さんのうち2人は米国海軍にいるそうです。

余談ですが、J7やJ6では公用語は英語であっても、普段はクレオール語(崩れたフランス語に一部英語がごちゃになったような言葉)を使っている人が多いためか、英語自体に訛りが強く、何がなんだかよく分からない場合もありましたが、V4では普段から英語を使っているようで、これらの中では一番きれいな英語に感じました。

これも余談ですが、ネビス島の人口はたったの11,000人ですが、フォーシーズンズの従業員はなんと657人です。家族含めると、島の人口の五分の一から四分の一くらいが同ホテルの関係者と言うことですね。大変な数です。この島は現在は観光が最大の産業で(唯一の、と言うべきでしょうか)、ホテルは他にも多くありましたが、皆いづれも高く、私は最安の宿(それでも朝食別で約US90ドル)にしましたが、電話も直通ではなく設備もボロボロでした。しかし、まあ、一通りの設備はありますし、エアコンもついていますから、こんなものか、とも思いましたが、それにしても高い…

次号に続く



南方向の約1km離れた場所から見たANT

## 年会費

郵便振替の用紙を同封しましたので、平成15年度盛岡クラブ年会費の納入をお願いします。(金額は正会員が2400円、家族会員が1200円です)

尚、何人か差額が発生している会員がおりますが、この機会に精算したいと思います。同封の振替用紙に納付すべき金額を記入してありますので、この金額を納入頂くようお願いいたします。

## 編集後記

2月号は都合により、発行できず皆様にご迷惑をおかけいたしました。季節はもう確実に春に向かっていきますHF帯のコンディションも、もうすでに春型になっています、皆様のアクティブなご活躍をこれからも記事にしていきたいと思っております。移動運用の予定やイベント等予定がございましたらお知らせ下さい。

原稿を募集しています、様式は、手書き、e-mailどちらでも結構です、ご連絡いただければこちらから取りにお伺いいたします、お気軽にご連絡下さい。

de JA7QQQ

JA7MFL 020-0108 盛岡市東黒石野1-8-10 須藤 裕

電話 019-661-7466 メール ja7mfl@mx5.nisiq.net

JA7QQQ 028-3303 紫波町高水寺字田中177-24 中村 浩

電話 019-672-2958 メール genkou@radiomorioka.com